

# すぎのこ

170

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

事務局:〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264  
狭山研修センター:〒350-1315 埼玉県狭山市北入前695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706  
滝沢研修センター:〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2023 4/1

2面・3面 巡回公演だより/園からの声/制作だより/2023年度公演予定  
4面 第36回 池袋いけいけ人形劇まつり in 大塚 開催/新作紹介「金のおの銀のおの」/演育ワークショップ報告/活動記録 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: [support@suginoko.org](mailto:support@suginoko.org)

## これからの子どもたちに必要なとされる教育

理事長 大場 隆志

こんにちは、社会のあらゆる場面で過剰なほど「コミュニケーション能力」という言葉が使われてお

ります。また、最近耳にする言葉は、「近頃の子どもたちはコミュニケーション能力がない」「子どもたちの表現力が著しく低下している」といった発言が聞こえてきます。

かつては地域社会や祖父母、兄弟から自然と身に付けられたものが、少子化や地域社会の崩壊によって、習得が難しくなっているという現状もあります。

これからの時代、予想を超える技術進化やあふれ飛び交う情報、AIやスマートロボットが到来するなど、国際社会を生きていく子どもたちには、今以上に「コミュニケーション能力」が必要になるとも言われております。

新しい学習指導要領においても、学びに向かう力、創造力やコミュニケーション能力、人間性の涵養などが必要だとされています。

社会のあらゆる階層で必要とされ、新しい時代の要請によっても必要とされる「コミュニケーション能力」は、これからの時代を生きて子どもたちにとって必要不可欠な基礎的能力となっています。

では、その能力をどのように学び、身に付けていくのか。  
令和三年七月に中央教育審議会にて、「幼児教育と小学校教育の

架け橋特別委員会」が設置され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を示し、プログラムの実施に向けた手引きが、次のように策定されました。

### ①健康な心と体

園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもつて行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

### ②自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

### ③協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもつてやり遂げるようになる。

### ④道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。

また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

になる。

### ⑤社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになる。とともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

### ⑥思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

### ⑦自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることができるようになる。

### ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

### ⑨言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

### ⑩豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲を

もつようになる。ここにおいても「コミュニケーション能力」「表現力」「創造力」といった力が必要だということがうかがえます。

この「コミュニケーション能力」や「表現力」「創造力」を学び、身に付けるということを実現する上で、私たち公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会が進めている「演育」は、学びの環境として、これから求められる教育のお手伝いができるかと確信しております。

全国の幼稚園・保育園に人形劇のナマの舞台を届ける活動を通じて、さらに、これからの時代に求められる新しい教育を、保育士の皆様や教員の皆様と一緒に取り組み、子どもたちの未来の社会を切り拓くための能力や資質の育成に貢献していきたいと思っております。



演育研究会 稲坂良比呂氏(左)と大場理事長(右)



# 巡回公演だより

## はだかの王様 班

世界中を騒がせたコロナが少しずつ落ち着いていく中、「はだかの王様」の作品は4年間の巡回を経て千秋楽を迎えた。上演を始めた頃は、小さい子になかなかお芝居のテーマが伝わりづらいこともあったが、どうすればよいのか、みんなで考えていろいろ工夫したところ、次第に良い評価をいただけるようになった。

私も1年間ローグ役(詐欺師役)をやりながら、難しいせりふがどうすれば子どもたちに届くのか、研究し続けた。本来とても面白い作品だということを、いかにして子どもたちに伝えられるのか。そ



れこそが「はだかの王様」という作品を演じる私たちの目標だった。たくさんの方のフィードバックを受け止め、もっと効果的な方法を模索した。試行錯誤して、そのお陰で少しずつ目標に近づくことができた。

1年を通して目標を成し遂げたと思っている。それも温かく見守り、ご意見をお寄せくださった先生方がいてくださったからこそと思う。その感謝を胸に次の作品も頑張りたい。

(七海 美流歌)

## たのきゅうのうわばみたいじ 班

高知の公演のことです。寒い日でしたが、とても熱く盛り上がりました。

帰り際に声をかけられました。「以前いらっしやいましたね?」巡回公演の俳優を続けて、もう40年以上になります。このように声をかけていただくことは、今までもなかったわけではありません。そのたびうれしい気持ちになり、励みにしておりました。でも、今回は今までとちよつと違っていたのです。後日いただいたアンケートに、こう書いてありました。

「幼いころ、園で見た出演者がいて、とても懐かしい思いを感じました」



以前すぎのこの人形劇を観てくれた小さな子が、今、先生になって子どもたちと一緒に再び人形劇を観てくださったのです。そして、私の拙い演技を覚えていてくださったのです。

子どもの育成に人形劇はどのようにかかわっていけるのか、あらためて自信と確信を持たた出来事でした。感謝いたします。

まだまだ若手のころ、諸先輩から言われた「人形劇は、子どもにとって初めて観るドラマだから、だからこそ一番いいものを作る」そんな言葉も忘れないように。めぐる、めぐる出会いを、初めてのように大切に、大事にしていこうと思います。

「ありがとうございます。」  
「お世話になっております。」  
「またお会いしましょう。」



## はだかの王様

・聖マリア幼稚園(京都府京都市)

子どもたちを引きつける声のトーンや、お話の展開のテンポ、私たちも見入ってしまった。楽しいひと時をありがとうございました。

みんなで一緒に劇を拝見し、絵本の世界と違うアプローチにたくさん新しい刺激を受けました。本当にありがとうございました!

・しらさぎ保育園(大阪府大阪市)

いつもクオリティの高い表現力と演技力で楽しませていただき、喜んでおります。コロナ禍で3年ぶりの上演に子どもだけでなく、私たち職員もワクワクしました。

やはりプロの演技を間近で見ると、子どもたちの想像力が養われ、職員も表現力が感化されると思います。

## たのきゅうのうわばみたいじ

・夜須保育所(高知県香南市)

自分が幼い頃より見たこと、聞いたことのある演者さん(※)で、なつかしい気持ちになりました。コロナ禍で、たくさんの方の行事やイベントが中止になる中、なんとか子どもたちに観せてあげることができ、うれしく思います。大変とは思いますが、頑張ってください。

※榎本 均(すぎのこ一筋、40年以上にわたり巡回公演を続けている人形劇俳優)

・勝山こども園(岡山県真庭市)

1歳児から5歳児まで、全員で鑑賞させていただきました。

「こねこと毛糸玉」では、セリフがなくとも様子を読み取って、笑ったり楽しんでいました。

「たのきゅう」も年齢が小さくても、あきることなく最後までよく見ました。

## おむすびこころ

・沼上こども園(静岡県静岡市)

いつもの2階の遊戯室がすてきな劇場に変わるだけでも、子どもたちは大興奮でした。コロナでいろいろな行事が縮小される中、ひとつ大きな楽しい思い出が増え、とても良かったと思います。

・若泉幼稚園(埼玉県本庄市)

「なかよし」が子どもたちに大好評で、「楽しかったね」という声が聞こえました。おむすびを作る手遊び歌があつて、みんなで楽しむ姿があり、手が動いていました。

年長児は、3人でどうやってたぐさんの声、人形をやっていたのか、場面の变化など、不思議に思つて話し合う姿も見られました。

・カトリック志布志幼稚園(鹿児島県志布志市)

すてきなお話を観劇させていただきました。ありがとうございます。

導入の「なかよし」のお話から、子どもたちが夢中になって観ている姿があり、「おむすびこころ」も含めて、子どもたちの感想にもありましたが、あつという間の1時間でした。



子どもたちにとってもなかなか観る機会が少ないので、よい経験になりました。

よくお電話口で先生方がお話ししてくれます。そんな我慢の時も、もしかしたら終わりが近づいているのかもしれない。これから先の未来がどうなるかはまだわかりませんが、



新年度が始まりました。ご入園、

徳島市ナーサリ-富田幼児園からのプレゼント



ご入学のみなさま、おめでとうございませう。

ここ何年か、様々なイベントが中止や見送りになったことかと思えます。楽しい行事ができなくて、今の子どもたちはかわいそうだと、



# おむすびころりん

班

(榎本 均)

「これからもよろしく願います。」

昨年の4月から、おむすびころりん班の稽古が始まり、5月から今年3月まで約200か所で行って来ました。日々の上演の中で

「こうしたらもっと良くなるのではないか」と進化していき、子どもたちの笑い声を聞いたり、舞台の隙間から楽しそうな表情を見るたびに、楽しい時間を届けられていることをうれしく思っています。

徐々に上演回数が回復してきているものの、コロナが心配で観たいけど観劇を見送る園様は今もなお多く、「こんなに笑ってもらえるなら観てもらいたかったな」という思いが残っています。

上演先の多くはいつも観ていただいている園様で、新規開拓や上



演を増やすため、すぎのこ全体で営業の電話をかけていますが、すぎのこの人形劇をごらんになったことがないところには、断られてしまうことが多いです。新しいものを導入することは抵抗感があるかも知れませんが、そういうところにこそ、ぜひ一度観ていただきたいです。

「子どもたちの楽しそうなキラキラした表情を見て、観せてよかった」という先生方の声を多くいただいています。そんな上演を今まで何百回と体験しているからこそ、一度観ていただければきっと満足していただけるはず、という思いでいます。新規の園様で、上演後に「楽しかったです。またお願いします」という声をいただければと本当にうれいすし、絶対にまた観たいと思ってもらえる上演にするんだ！という気持ちです。

ありがたいことに、楽しかったというブログを掲載してくださっている園様がいらっしやいます。写真撮影も可能ですので、ごらんいただいたら、ぜひブログ等に観劇会の様子を掲載したり、他の園様にご紹介してくださると大変うれいすです。

「二度観たら心をつかむ上演」を胸に、すぎのこの人形劇は良い！と一人でも多く思っていただけけるよう、新年度も頑張っています。今後ともすぎのこの人形劇をよろしく願います。

(長谷川 唯)

# もぐもぐ劇場

班

新年度がスタートしました。「もぐもぐ劇場」のメニューを紹介い

たします。今年度こそコロナが良い状況になり、多くの子どもたちに「ナマの人形劇」をお届けしたいと思っています。

## ●かもとりごんべえ

人間と人形のごんべえさんが登場し、子どもたちに鳴になって参加してもらい、参加型の人形劇です。生き物の命の大切さをテーマにしたお話です。



## ●ねずみの嫁入り

皆さんがよくご存じのお話を、うちわ太鼓を使いテンポよく進めていく人形劇です。太陽・雲・風・壁の個性豊かな人形が登場して、子どもたちから拍手が起こります。身近なことには意外と気が付かないということをテーマにしています。

## ●ずいてん

小坊主ずいてんと、いたすらキツネのとんちくらべの人形劇です。キツネが化けた仏様の細かい動きに、子どもたちは大喜びです。

## ●三匹のこぶた

大きな絵話から、ペープサート

急激に時代が変化し、新たな価値観を身に付けて自由になったら、どんな楽しいことができるのでしょうか。とてもワクワクし、希望に満ちあふれていると感じます。

## すぎのこは皆様に支えられ、何

のこぶた・おおかみが飛び出してくる作品です。毎回、子どもたちの反応が会場を盛り上げます。その他、一人で演じる「犬の話」「なかよし」などもあります。ご予算に応じてご相談いたしますので、お問い合わせをお待ちしております。

# ずいてん・ねずみの嫁入り

班

(下村 あきら)

昨年度1年間を通して、「ねずみの嫁入り」や「そっくりのくりのき」を上演してきました。地域内でまとまって上演を行ったり、いろいろなおところへ上演に行ったりと、なかなか忙しい公演生活



## 2023年度 公演予定

地域	5月～8月	9月～12月	1月～3月
北海道	たのきゅうのうわばみたいじ		
東北			
関東	おむすびころりん		
新潟・北陸			たのきゅうのうわばみたいじ
東海・近畿			おむすびころりん
中国		金のおの 銀のおの	
四国			金のおの 銀のおの
九州	金のおの 銀のおの	たのきゅうのうわばみたいじ	おむすびころりん
沖縄		おむすびころりん	

### その他

●そっくりのくりのき ●ルルとロコの宝さがし ●かもとりごんべえ ●ねずみの嫁入り  
関東を中心に上記の作品も上演しております。お気軽にお問い合わせください。

とか続けてまいりました。今年も新たな作品を作ることができ、巡回を続けられること、当たり前ではないと思います。必死に、悔いのないよう頑張ります。感謝の思いを胸に、これからも全国各地に

人形劇を届けてまいります。すぎのこの人形劇を観てみませんか。皆様にお会いできる日を楽しみにしております。  
(菅谷 香純)

基本的には2人での舞台が多く、そんな上演を通してよく言っていただけけるうれいすお言葉が「2人でやっているとは思えなかった」という一言でした。園に2人うかがうとびつくりされることも多く、すぎのこも基本的には3人で舞台を行うので、最初に訪れた時と舞台を見終わった後の「2人」ということへの驚きの意味合いが

変わっていくことを実感すると、今年1年を通して改めて喜んでいただけた喜びと、良い意味で予想を裏切れたことへの達成感がとても大きいです。また今年度も全国を巡回する本班ではなく、別班で関東近郊を巡回することもあるかと思ひます。その時には、また驚きと感動を届けられたらと思ひます。  
(太田 令)



第36回

# 池袋いけいけ人形劇まつりin大塚

## 5月4日(木・祝)開催

今年も池袋いけいけ人形劇まつりに出演させていただくことが決まりました。まだまだコロナの影響で上演時間が制限されていたり、施設全体ではなく決められた場所でのしか上演できなかったりと制約はありますが、その中でもいろいろ出来ることはないか、と運営の方からご相談を受けることもありました。劇団すぎのこもどろんどろん協力をして、盛り上げていきたいと思っております。

第36回池袋いけいけ人形劇まつりは、5月4日(木・祝) 南大塚 地域文化創造館の南大塚ホールにて開催。前売券おとな800円、こども400円(当日おとな1000円、こども500円) チケットのお求めは「としまチケットセンター」まで。電話は0570-00561777(10:00~17:00)、窓口販売はとしま区民センター1F、またはWEBサイトでもご購入いただけます。

最新情報は「池袋いけいけ人形劇まつり」公式HPでご確認ください。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

### 報告 演育ワークショップ

2022年4月から8回実施してきた、埼玉県飯能市さゆり幼稚園での演育ワークショップが1月25日、無事に終了いたしました。12月のクリスマス会(発表会)も経験し、4月頃と比べると表現や発声に成長のあとがみられ、楽しいワークショップになりました。また、先生方からは、演育ワークショップに対するご意見をいただきました。

## 「金のおの 銀のおの」

### 新作紹介

2023年度、新たな巡回作品として「金のおの銀のおの」が加わります。本作は、正直者と嘘つきの掛け合いをコミカルに描きつつ、嘘をついたことへの反省が道徳的に伝わるように脚色しています。

自分の欲望のためだったり、自己防衛で嘘をついたりしてしまうこともあるかと思えます。本作の人形劇を通して、嘘をつくこと、正直であることを客観視できる良い機会になればと思います。

また、本作とセットの導入作品として、「みにくいあひるのこ」を制作しています。人は生活環境の影響を大きく受けています。例えば、学校ではいじめられるけど、ネットの世界では人気者だったり、コンプレックスに思っていることが、自分の知らないところでは評価されていたり。

今置かれている状況、評価が全てではないことを、「みにくいあひるのこ」を通して感じることが出来ます。様々な視点から考えさせられる、とてもメッセージ性の高い作品ですが、子どもたちに向けて観せるお話なので、重くならないように、可愛らしい雰囲気、最後に「良かったね」と、ほっこりできるような作品にしました。

制作する過程で大事にしていることがあります。それは、子どもたちの目線に立って、どういものだったら観ていて楽しいか、引き込まれるかを考えること。形になっていてもセリフが多すぎて聞き疲れてしまったり、テンポが淡々としていて話の展開に波がないと飽きてしまったり…つまらないと感じる要因を分析してみる。逆に“子どもへのわかりやすさ”に重きを置くと、子どもだましの内容になってしまう。そのバランスが制作している中で課題になっていました。

新作の「金のおの銀のおの」「みにくいあひるのこ」も、子どものみならず、一緒に観る先生方も楽しめる作品を目指してまいりますので、よろしくお願いたします。

(長谷川 唯)



- ① 年中クラスに30分は長い。(特に新年度が始まった4~5月)
  - ② 身体を動かす内容のワークショップが子どもにも人気があった。(生き物の表現・ストップモーション等)
  - ③ 発表会の作品を題材に指導してほしい。
  - ④ ハッキリ、大きな声で話せるようになった。
- そして、2023年度も引き続き「演育ワークショップ」のご依頼をいただきました。

今年度実施した内容を検証して、感性力、表現力、想像力と創造力を身に付けていく演育を、より充実したワークショップにしていきたいと思えます。今年度もよろしくお願いたします。(下村 明)

1/7	第三学期全国巡回公演開始
1/11	演育ワークショップを実施(於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市))
1/25	演育ワークショップを実施(於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市))
2/7	第23回定例理事会 於・当公益財団法人事務所
2/27	第8回臨時評議員会 於・当公益財団法人事務所
3/25	第三学期全国巡回公演終了
3/31	令和5年度事業計画書並びに収支予算書を内閣府に提出

# 賛助会員を募集しています!

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
- (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円 以上
団体	年額	10,000円 以上
- (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。